

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	現在、感染症拡大防止対策の一環として運営推進会議を中止している。当初は感染拡大が収束後に再開する予定であったが長期に渡り、且つ先行きも不透明であるので、「ウィズコロナ」の観点から感染防止対策と両立させていく必要がある。	関係者との感染防止対策を含む、実現可能な開催方法の協議を行い、2か月に1回の頻度で再開する事を目標とする。	1.オンラインでの開催、2.空間の設定(飛沫防止シールドや換気、広いスペース)、3.書面でのやりとり、この優先順位で提案→協議する。	3ヶ月
2	2	身体拘束について、身体拘束委員会を設置し、毎月ミーティングを実施しているが、拘束時の同意、モニタリングや解除の流れが時系列、また各入居毎に一元管理された資料がない。	各入居者毎の同意→モニタリング→解除の流れを全スタッフで共有しやすい資料を作成する。また、身体拘束廃止にむけた取り組みに活用する。	資料作成に向け、身体拘束委員会のメンバー及び全スタッフに資料作成の目標と目的を周知し、意見をもとに資料の作成を実施する。また、看護師や第三者、専門家の意見も取り入れ、具体性のあるものとする。	3ヶ月
3	3	入居者ご家族のアンケート結果より感じた課題として、長引く感染症対策が入居者本人とご家族に閉塞感を与えているのではないかと考える。面会方法、利用者様の外出について再度検討を重ねる必要性が高まっている。	感染症対策の観点から安全性の高い面会方法を構築し、入居者様とご家族が共有できる時間をつくる。また、並行して外出頻度を高める事によりQOL向上を目指す。	現在は室内面会を中止しているが、抗原検やPCR検査の結果をもとにルールを策定し、室内面会の実施を検討、協議する。利用者様の外出に関しては、リスクの低い場所を精査し、頻度を高める。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。